

■平成25年4月1日発行
■編集発行：宮崎県美郷町
■宮崎県東臼杵郡美郷町
西郷区田代1番地
■TEL 0982-66-3601
■FAX 0982-66-3137
■ホームページ
<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>



宇納間地藏尊大祭

旧暦1月24日を中日とした宇納間地藏尊大祭が、3月4日(月)から6日(水)の3日間にわたり開催され、多くの参拝者で賑わいました。

平成25年度施政方針

平成25年3月4日に招集された第1回美郷町議会定例会において、平成25年度の各会計予算が上程され、菊田彦市町長から施政方針が示されました。



一般会計予算並びに各特別会計予算を編成させていただきました。私の所信の一端を述べさせていただきます。議員各位を始め、町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新年度予算及び関連議案のご審査をお願いするに当たり、「継続」と「中・長期的な展望」をベースに、引き続き過疎からの脱却と公費の地域循環型（町内循環型）予算を基本フレームとして、平成25年度美郷町

限り世界経済の試練が今後も続くだろうと予測されます。

一方、国内では、昨年末の衆議院議員総選挙において民主党政権から自民党政権へ変わりました。同時に「縮小均衡の分配政策」から「成長と富の創出の好循環」へと大きく転換することになり、安倍総理は、過度の悲観論を排し、「強い経済を取り戻す」と新年早々から精力的に施策展開を各方面へ指示しております。

その経済対策は、(1)復興・防災 (2)成長による富の創出 (3)暮らしの安心・地域活性化という3本の柱で構成し、いわゆる24年度の大規模補正と25年度予算をリンクさせ、「15ヶ月予算」の考え方で、切れ目ない経済対

策を実施に移そうとしているところがあります。

今年最初の取引となる1月4日の大発会を迎えた東京株式市場は大幅伸伸びました。日経平均株価の終値は1万円台を回復し、終値としては大震災前の平成23年3月4日以来、1年10カ月ぶりの高値水準となったところです。政権が変わり、景気上昇の兆しと受け取るのは時期尚早かと考えるところですが、いずれにしても長引く不況から、いい意味での変化を国民全体が望んでいるものと考えるところです。

為替危機、石油ショック、バブル崩壊などいくつもの激変を乗り切ってきた日本経済であり、今こそ、その底力を発揮して成熟経済対応にギアチェンジする時とも思います。大胆な金融緩和、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「3本の矢」（アベノミクス）で、強い経済を取り戻すという、安倍政権の処方箋は妥当なものと考えますが、一時的なカンフル剤で終わってはなら

ないと切に願うところです。

ただ、我が国はGDP（名目国内総生産）の2倍にも達する公的債務残高を抱えていることを忘れてはならないところです。いくら経済対策という名目でも、不要不急なものまで触手を伸ばすのではなく、真に美郷町に必要なものを、きちんと、また、したたかに見極め、持続的成長につなげる総合的な観点から、今回の大型補正などに対応したいと考えているところでもあります。

冒頭でも述べましたように、新年度は「継続」と「中・長期的な展望」をキーワードとして、過去3年間の施策を更に深く根付かせ、国・県の動向を注視しつつ、親子ともに自信の持てる町「住んでみたい 住みよい きれいな町づくり」の実現に向け、一円の無駄も見逃さない姿勢で事業仕分けを行い、活きた予算、地域循環型（町内循環型）予算として編成したところです。

一体感の醸成に不可欠な「美郷トンネル」は、24年度着工し、新年度早々には貫通の予定です。供用開始までにはまだ数年かかりますが、全線開通に向け、議会と共に全力を挙げて国・県に要望して行きたいと考えています。

生活や生産の基盤である道路網の整備のほか、町民が安心して暮らせる医療の充実、農林業の再生や地域の特色を最大限に活用した産業振興、少子高齢化社会に対応した福祉施策、健康保持増進を図るための保健対策、生涯学習等の教育振興対策、安全で安心な暮らしづくり等、町民福祉の充実を図る諸施策を展開し、暮らしやすさや豊かさを実感できる町づくりの実現に邁進する所存です。

さて、東日本大震災の被災地は厳しい2度目の冬を迎えました。大地震と大津波、原発事故によって住み慣れた故郷を追われ、いまだに約32万人が避難生活を強いられる、2年を経過しようとしている現在でも、安住の地“を確保できない深刻な現実です。私は一日たりとも頭から

離れたことはありません。なんとかして少しでも支援できないものか悩む日々でもあります。

また、我が国は多くの活火山があり地震列島でもあります。決して他人事ではありません。常に有事の事態を念頭に置き、地震や豪雨災害、そして、絶対に風化させてはならない口蹄疫被害などを常在危機と捉え、危機管理の徹底には更なる対策を傾注したいと考えております。

私は平成24年度までに、「子育て・就学支援」、「新規就農林支援」、「担い手支援」など新たな施策を展開してまいりました。

新年度はこれらの施策の充実に加え、「6次産業化の基盤確立」を図りつつ、高齢者の方々を「生涯現役者」として位置づけ、「生産人口の中心的役割となるべく環境づくりや支援（仮称、輝く高齢者支援）」にも積極的に取り組むたいと考えております。

以下、主な施策について、その概要をご説明申し上げます。

ます。

1 農林業の振興

本町の基幹産業である農林業の振興につきましては、最重要課題であり、今年度も引き続き重点的に取り組んでまいります。特に、「美郷町農林業担い手対策事業」により、農林業の担い手育成・確保を図り、農林業の振興と地域活性化を推進します。

また、農林産物の付加価値を上げるため、6次産業化の基盤確立のための対策を展開するとともに、以下の対策に積極的に取り組んでまいります。

PPP問題につきましては、関係団体と連携し、引き続き協議参加阻止運動の展開を図ります。

美郷町総合計画に定めた作物を中心とした生産目標達成に向け、栽培面積の拡大・栽培技術等の向上を図ります。

耕畜連携を推進するとともに、関係機関及び畜産農家と連携を図りながら、防疫対策を推進します。

「人・農地プラン」によ

り農地集積を推進し、農地の有効活用と耕作放棄地対策を推進します。

国の森林・林業再生プランに基づく、新たな森林経営計画に沿った森林整備や素材生産の振興と併せて、関係機関団体と連携し販路の開拓拡大を図るとともに、未利用木材の利用検討と販売戦略を推進します。

椎茸・木炭等の特用林産物の品質向上と価格の向上を図るとともに、安定経営のため、継続して各種事業を支援します。さらに、新たな販路拡大により安定した収入確保と生産量の拡大に努めます。

鳥獣被害対策については、関係機関や団体と連携協調して、捕獲による個体数削減や防護施設の設定等による対策を強化し、被害軽減を図ります。

2 町民生活行政

国民健康保険事業について、本町の国民健康保険事業は、医療費の増加などによって厳しい運営が続いておりま

すので、特定健診の受診率向上などの健康づくりをすすめることで医療費の低減を図るほか、中長期的な財政運営計画により事業の安定化をめざしてまいります。

児童福祉施策について、子育て支援対策として平成24年10月より、医療費助成を小学校入学前までから中学生までに拡充したところです。少子化対策は、町にとって重大な課題であると考えており、全国的な社会問題でもある児童虐待を未然に防止するため、関係機関との連絡調整など、子育てがしやすい環境づくりのための対策に、積極的に取り組んでまいります。

環境衛生施策については、今日の環境問題は、消費生活の多様化により、全国的にごみの排出量が増加しており、深刻な問題であります。本町を含む5市町村で構成する日向東白杵南部広域連合と経費の節減、圏域の環境美化に取り組むとともに、町民と協働のもと、生ごみの自家処理の推進、ごみ分別の理解を求めながら、減量化に取り組んでまいり

ます。簡易水道事業は、安全な水を安定して供給するため、施設の維持管理を確実に行うとともに、老朽化した施設を計画的に更新するよう検討したいと考えております。住民管理の小規模な給水設備も、住民生活の基本となる施設であり、高齢化にも配慮し、設備の整備と維持管理について、引き続き支援してまいります。

農業集落排水事業については、施設の老朽化状況等に応じ、効率的な修繕、改修計画を定めたいと考えております。きれいな町づくりのため、合併浄化槽についても、新設、維持管理、修繕について、支援してまいります。

3 健康と福祉の町づくり

高齢者の福祉と医療について
町の65歳以上の高齢者の割合は43.8%と極めて高く、高齢者の日常生活に不自由、不便、困窮、孤立が無いよう、在宅介護支援、住宅改造、交通対策、生きがい対策など各種の生活支援に取り組んでまいります。

高齢者の一人暮らし世帯は54.4世帯で全世帯の19%と増加しているため、安心生活創造事業に引き続き取り組み、支援を要する高齢者等を漏れのないよう把握し、個別訪問などにより個々のニーズに対する的確な支援に努めるなど、元気で生きがいのある老後を過ごせるよう配慮してまいります。

今後の高齢化に的確に対応するため、社会福祉協議会との連携が一層円滑になるよう執務体制を改善するとともに、後期高齢者医療事業特別会計の健全運営に努め、安心して医療が受けられる体制を維持します。

健康施策について
健康は生活の基本であり、特定健診や各種がん検診の受診率向上と健診後の指導の強化や、健康増進の知識の普及と運動教室、食生活改善の取り組みを充実し生活習慣病の対策をすすめるとともに、高齢者が介護を要する状態にならないよう、運動、栄養、口腔ケアなどの予防を重視して健康寿命を延ばすよう努めます。肺炎球菌ワクチン予防接種の助成や心の健康づくりにより疾病や自殺の予防にも

取り組んでまいります。

配慮してまいります。また、乳幼児健診や歯科検診、及びその経過観察を充実させ、健やかな乳幼児の成長発達を支援してまいります。

医療や職域、地域団体との連携を深め、健康づくりの知識と実践が町民生活に浸透するよう取り組んでまいります。

障害者福祉について
障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するため、地域生活支援事業を的確に実施するほか、町内の障害者福祉施設との連携や協力を配慮し、障害者が在宅で地域と共生できるよう支援してまいります。

障害者やその家族についても福祉会や家族会などの団体を支援するとともに、潜在している障害者の個々の困難な課題に対応することを念頭に、障害者相談支援専門員の増員を図るなど、障害者福祉の充実を図ります。

よう努めます。様々な介護サービス事業や介護施設が過不足無く提供できるよう努めるとともにサービスの質の向上にも配慮し、要介護者等人口の的確な予測のもとに介護保険事業特別会計の健全な運営を堅持してまいります。

4 教育の振興

本町の教育全般の振興を図るため、教育基本法の理念及び県教育基本方針を踏まえ、人間尊重の精神を基本とし、一人一人が豊かな人間性を培い、変動する社会に創意工夫と生きがいをもって対応できるよう、「たくましい体」「豊かな心」「すぐれた知性」を備え、郷土並びに国家の有為な形成者として、心身ともに調和のとれた人間形成をめざして、教育推進を図ってまいります。

小・中学校の教育について
児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし、「知・徳・体」の調和のとれた健やかな児童生徒の育成を目標とし、県の重点施策を総合的・体系的に示した「第二次宮崎県教育振興基本計画」の趣旨を踏まえた施策



を展開してまいります。さらに、本町の教育資源を生かし、「ふるさとを愛する心と豊かな国際感覚を育み、確かな学力を身に付け、自分に自信と誇りがもてる、心豊かな人材を育成すること」を目標とした「美郷ならではの教育」推進を目指し、小中一貫教育の具現化に向けた取組を積極的に実施してまいります。

特に、開校3年目を迎える南郷区美郷南学園の施設一体型小中一貫教育と、西郷区・北郷区における連携型小中一貫教育のさらなる充実を図ります。また、校舎の耐震化工事やエクスカー整備事業による安全・安心な教育環境の整備充実とともに、今後の小中一貫教

育の在り方について検討を進めてまいります。

さらに、個に応じた特別支援教育の推進と、児童生徒一人一人を大切に生徒指導の充実、町独自の研修会等による教職員の指導力・資質向上に努めてまいります。

幼稚園教育について

幼児期の特性を踏まえた幼稚園教育の充実と教育環境の整備とともに、町民生活課や関係機関と連携しながら就学前教育の充実に努め、義務教育への総合的な指導のながれを一貫したものと、小学校以降の生活や学習がスムーズになるよう努めてまいります。

また、保護者との教育相談や家庭教育の充実を図り、



家庭と連携した幼稚園教育を進めてまいります。

生涯学習の推進について
生涯学習の拠点となる社会教育関連施設等を活用し、町民の多様化・高度化する学習ニーズに対応した学習情報や機会の確保、また、生涯にわたる学習できる環境づくりに努めるとともに、地域コミュニティの核となる自治公民館の活動に対する支援体制を整備し、生涯学習社会の構築を図ってまいります。

新年度は、家庭・学校・地域社会及び社会教育関係団体との連携をさらに深め、生きがい教室・高齢者学級・文化サークル活動の拡充と、各種ボランティアグループの育成と活動の支援を行います。

また、青少年教育の一環として、青少年交流事業や子ども体験活動推進事業にも継続的に取り組み、町内の子どもの同士の交流を図ってまいります。

公立図書館については、今後も町民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、利用者のニーズに応じた蔵書の拡充等整備と共に効率的な活用を図ってまいります。

芸術・文化の振興について
町内の貴重な史跡や文化財の保護、さらに町内の各地区・各地域に残る文化財の調査に努め、文化財保護調査委員会の意見を聞きながら、適正に保存・継承することに努めてまいります。

また、町文化協会の組織強化や各芸術・文化サークル活動の育成を図り、伝統芸能等の文化事業を積極的に支援してまいります。

健康の増進と生涯スポーツの推進について

町民の健康意識が年々高くなっていく中において、生涯スポーツは体力や健康増進のみならず地域の人々をつなげる大きな役割と意義をもっているものと考えられます。

町民の健康維持増進と、一体感の醸成を図ることを目的に、日常生活におけるスポーツ・レクリエーションに町民が気軽に親しめる環境づくりに努めてまいります。

また、町体育協会や各種スポーツ団体との連携を強化し、町民スポーツ祭の実施、その他各種大会を計画しながらその競技力の向上、スポーツによる町民の交流を図ってまいります。

5 商工観光の振興

ようやく景気も回復の方向へ進んでいるようですが、地方にこの影響がどれくらいでやってくるのか。不安定な要素もまだまだ多いことから、新年度においても商工会合同商品券事業を取り組んでいただくこととしております。

観光振興については、目前となっている高速道路の全線開通も見据えながら、情報発信の強化や広域での取り組みを行います。

6 情報化対策

情報化対策については、自治体クラウドへの移行やCATVの整備など大きなインフラ整備が終了しましたので、その安定運営と維持管理に取組むこととします。

7 地域交通行政

地域交通対策は、住民の通院などの移動手段を確保する必要不可欠な施策の一つです。合併から現在まで総合的な検討を重ね、特に平

成24年度は、北郷・西郷のコミュニティバスの2回目の見直しを中心として実施し4月からの実行を予定しています。

また、25年度は南郷区の乗合バスの見直しを予定しております。今後も運行実績や住民の意向などを十分検討しながら、「へき地患者輸送バス」なども含め、無駄の無いより良いシステムになるよう対策を見直していきたいと考えています。

日向への3つの幹線ルート維持確保については、関係自治体や宮崎交通、宮崎県と協力しながら取り組んで行きたいと考えています。

8 土木（建設）施策

地域の基本的な社会資本である道路交通網の整備については、「住んでみたい、住みよい、美しい町づくり」を図る上からも、重要な施策の一つであります。国の事業等を活用しながら計画的な整備を進めてまいります。

国・県道及び町道の整備について
国・県道につきましても、国道388号の改良整備が最も重要であります。西郷・南郷間の「美郷トンネル」は、

26年度の開通を目指し順調に工事が進められておりますが、早期完成（供用開始）に向けて、継続して要望してまいります。また、南郷区鬼神野牛山工区は、整備区間として設定されており工事が開始される予定であります。さらに、北郷・門川間の改良整備も本格的な調査計画等が始まる予定であり、国道446号「東郷・南郷」区間の整備、県道「宇納間・日之影線」、西都・南郷線「の改良も含め、関係機関に強く要望してまいります。

農林業の生産基盤整備について
農地・農業用施設整備につきましても、県単土地改良事業などの制度事業を活用し、より細かな用排水路等の整備を行います。

医師の確保については、地方の医療機関はもとより、中核の医療機関に対しても大学からの医師派遣が中止になるなど、医療崩壊は益々深刻になってきており、へき地医療の中心的な担い手として、県が行っている自治医科大卒医師の配置も、地域の要請に応えるには十分でなく、特に25年度は非常に厳しい現状にあります。

医師の確保は医療行政上、最も大きな課題の一つであり、幸いに24年度、1名の定着医師の確保が出来ました。今後ともしっかりと医療機関での診療充実はもとより、地域に向けて住民の安心と安全を担保することに努めてまいります。

そのための方策の一つとして、22年度から毎年、町内の全地区で実施した「地域医療と健康を考える座談会」により、医師と住民との絆が醸成され、本町議会議員発議による「美郷町の地域医療を守る条例」が制定されました。

住宅整備及び防災対策について
町産材を活用してのリフォーム事業の推進のほか、町営住宅の適正な維持補修に努めてまいります。また、本年度からは、分譲住宅事業並びに公営住宅建設の促進のための関連予算を計上しました。定住化の促進を積極的に進めてまいります。

町税は、「親が子どもに自信のもてる町」「住んでみたい住みよききれいな町」づくりや安心して住める地域づくりのために使われる貴重な自主財源であります。税務行政にあたっては、公平かつ適正な賦課徴収の実現を図りながら、税収の確保に努めるとともに、自主納税の推進と厳正かつ効果的な執行にあたることによつて徴収率の向上に努めます。

9 公平負担で住みよいく

町税は、「親が子どもに自信のもてる町」「住んでみたい住みよききれいな町」づくりや安心して住める地域づくりのために使われる貴重な自主財源であります。税務行政にあたっては、公平かつ適正な賦課徴収の実現を図りながら、税収の確保に努めるとともに、自主納税の推進と厳正かつ効果的な執行にあたることによつて徴収率の向上に努めます。

10 地籍調査事業

地籍調査事業は、土地所有者の財産権の保護、災害復旧事業や公共事業の円滑な実施、課税の公平化など、安定的な町づくりの基礎データとなるものであり、南郷区の調査事業を進めていきます。

本年度は、平成24年度に一筆調査した大字水清谷5地区7字、635k㎡の地積（面積）測定、認証請求業務と平行して、新たに、大字水清谷4地区4字、81k㎡の一筆調査と測量業務を実施する計画であります。

この結果、平成25年度末には、累積面積が10466k㎡で59.62%の進捗率になる予定で、今後とも計画的な地籍調査事業を推進していく所存であります。

11 地域防災・交通安全 全及び防犯対策

本町は、地理的・自然的条件により台風や梅雨時期等の集中豪雨などによる風水害や土砂災害が発生しやすい状況にあります。このことから、美郷町地域防災計画に基づき、万全な防災体制の確立を目指します。

消防団について
非常備消防自治体の本町では、消防団が唯一の消防機関であり、地域防災の要であります。町としましては、消防施設の充実や団員の確保活動環境の整備、併せて自主防災組織の育成強化など、防災力の向上に取り組みます。

救急業務について
業務の一部を民間に委託するなど住民サービスの充実に努めております。平成25年度より高規格救急車を導入し、更に迅速な対応と効率的な運用に努めます。また、日頃から業務内容の事後検証を行うとともに、施設の整備や従事者への教育・講習等を実施し、業務の充実に努めます。

交通安全対策について
警察や交通安全協会、交通指導員会等の関係機関と連携を図りながら、交通安全思想の一層の普及啓発と施設の点検や改善を行います。

12 国保病院・診療所 運営行政



国保病院及び診療所事業については、地方公営企業法とそれに準じての独立採算を目指しながら、同時に地域住民の保健、医療、福祉を担うという政策医療機関の立場もあります。今日まで一貫して、医療はもとより、保健、福祉の面においても中核的な役割を担う施設として、地域包括ケアの推進に努めてきたところであります。

一方、経営面における近年の状況として、診療報酬制度の見直しは、2年毎に行われ、平成22年度、24年度の過去2回の改定では微増であったものの、小規模病

平成25年度 一般会計予算（歳入）

区 分	金 額	構成率
町 税	521,473	6.9
地 方 譲 与 税	123,501	1.6
利 子 割 交 付 金	1,000	0.0
配 当 割 交 付 金	310	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	100	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	45,000	0.6
自 動 車 取 得 税 交 付 金	22,200	0.3
地 方 特 例 交 付 金	377	0.0
地 方 交 付 税	4,157,966	55.3
普通地方交付税	3,927,966	52.3
特別地方交付税	230,000	3.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	500	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	19,351	0.3
使 用 料 及 び 手 数 料	77,964	1.0
国 庫 支 出 金	285,623	3.8
県 支 出 金	542,733	7.2
財 産 収 入	37,124	0.5
寄 附 金	5,642	0.1
繰 入 金	465,012	6.2
繰 越 金	100,000	1.3
諸 収 入	173,461	2.3
町 債	937,700	12.5
計	7,517,037	100.0
（ 内 自 主 財 源 ）	1,400,027	18.6

平成25年度 一般会計予算（歳出）

目 的 区 分	金 額	構成率
議 会 費	78,238	1.0
総 務 費	976,212	13.0
民 生 費	817,331	10.9
衛 生 費	463,609	6.2
農 林 水 産 業 費	1,319,338	17.6
商 工 費	220,404	2.9
土 木 費	549,928	7.3
消 防 費	159,239	2.1
教 育 費	521,466	6.9
災 害 復 旧 費	98,417	1.3
公 債 費	1,130,472	15.0
諸 支 出 金	1,162,383	15.5
予 備 費	20,000	0.3
計	7,517,037	100

平成25年度 各会計当初予算

会 計 名	金 額
一 般 会 計	7,517,037
特 別 会 計	
国民健康保険事業特別会計	1,113,869
介護保険事業特別会計	1,003,890
簡易水道事業特別会計	194,861
農業集落排水事業特別会計	125,428
後期高齢者医療特別会計	218,213
国民健康保険診療所事業特別会計	352,045
国民健康保険病院事業会計（収益的収支）	601,765
国民健康保険病院事業会計（資本的収支）	111,117
小 計	3,721,188
合 計	11,238,225

な対応、かかりつけ医療機関としての役割を發揮

・三ツ目には、「1次医療（美郷町内）と2次・3次医療とのネットワーク強化」による、住民の安全・安心医療の確立以上、三ツ目を柱として、「地域唯一のかかりつけ医療・一次救急の対応」を今後も維持してまいります。

（むすび）
以上、各分野ごとの施政方針を基本に編成した平成25年度予算は、一般会計で総額が75億1千703万7千円になりました。
平成24年度当初予算との比較では、2千918万1千円、0.4%の減額となりました。

まず歳出では、24年度の予算と比べると、民生費、衛生費、農林水産業費、消防費、教育費、災害復旧費が増額、国の経済対策への移行等により、土木費が9千73万5千円の減額となりました。
歳入予算では、地方交付税が41億5千796万6千円、全体の55.3%、町税が5億2千147万3千円、国県支出金があわせて8億2

千835万6千円、基金積立から4億6千500万円の繰入で、主に財政調整基金から2億5千万円、産業等振興基金から1億8千500万円を繰入れ、町債は、町公債費負担適正化計画の範囲内で、臨時財政対策債1億8千900万円、過疎対策事業債3億2千200万円、合併特例事業債3億870万円など、合計9億3千770万円を計上しました。

次に特別会計では、国民健康保険事業特別会計が11億1千386万9千円、後期高齢者医療特別会計が2億1千821万3千円、介護保険事業特別会計が10億389万円、簡易水道事業特別会計が1億9千486万1千円、農業集落排水事業特別会計が1億2千542万8千円、さらに国民健康保険診療所事業特別会計が3億5千204万5千円となりました。また、国民健康保険病院事業会計の収益的収支と資本的収支は、7億1千287万8千円を予定しており、業収は4億3千881万1千円を見込んでいます。
このことから、7つの特別会計の予算総額は、37億2

千118万4千円となり、一般会計と合わせ、平成25年度予算総額は、112億3千822万1千円となりました。
以上、平成25年度の施政方針と予算規模について述べましたが、これらは、持続可能な制度設計のもと、本町が抱えている課題や住民の要望に添える施策であるとともに、将来の行財政の展望を踏まえた責任ある予算編成を基本としました。

本年も地域循環型の経済対策を基本に、さらに相乗効果を高める施策の展開を図り、活力ある地域再生を図れるよう、全力を尽くしてまいります。
特に、私の公約であった農林業の担い手育成と少子化対策としての子育て支援については、「親が子どもに自信のもてる町」「住んでみたい住みよいきれいな町」「づくりの具体策として、一人でも多くの担い手が、「住んでみたい」「住みよい」地域になるよう、さらに力強く推進していく所存でございます。
町民の皆様と議員各位のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。私の平成25年度の施政方針とさせていただきます。

宇納間地蔵尊大祭

旧暦1月24日を中日とした宇納間地蔵尊大祭が、3月4日(月)から6日(水)の3日間にわたり盛大に開催され、多くの参拝者が火伏せ地蔵に手を合わせ、鎮防火災を祈願していました。

「365段」という長い階段を年に1回登り地蔵さんをお参りすることは、健康のパロメーターにもなる」とこやかに話される方もいらっしゃいました。

また、歩行者天国にはたくさんのお店が軒を連ね、美郷町の特産品やお土産を買い求める姿もみられました。

初日の夜には宇納間地蔵奥之院である市木地蔵において、白太鼓踊りが奉納されました。この白太鼓踊りは一時途絶えていましたが、地元保存会の方々により復活し、毎年地蔵大祭に合わせて奉納されています。

また中日と最終日には、今や大祭の名物となっているエイサー・演舞が行われ、沖縄のエイサーグループ「鼓衆しんか」、北郷区のエイサーグループ「絆」と琉星會の3チームが華やかで躍動感の溢れるエイサーを披露し、春の里山に大きな拍手が響き渡っていました。

江戸で大火が起った際に大雨を降らせて鎮火したとされる宇納間地蔵尊、「大祭3日間のうち1日は雨が降る」という話もよく耳にしますが、今年の大祭は3日間晴天に恵まれ、参拝者の足取りも軽やかにみえました。

宇納間地蔵尊は皆様の安全を見守ってくれとて(こ)で(し)ょ(う)。

来年は60年に1度の御開帳の年にあたります。平成26年2月22日(土)〜24日(月)



梅まつり開催

毎年おこなわれている、水清谷梅まつり（水清谷ふるさと再生委員会主催）が、2月17日（日）に開催されました。

当日は、曇りで肌寒い日でしたが、200名を超える参加者は、受付会場からの往復約4kmのウォーキングを、8分程に咲いた梅の花を眺めながら楽しんでいました。

会場に戻って大鍋による豚汁とおにぎりの昼食をとった後は、特産品等の抽選会もあり、参加された方々は早春の穏やかな一日を満喫されたようでした。



美郷町子誉め表彰 教育委員会表彰受賞者

美郷町子誉め表彰とは優れた個性、能力及び社会性を持ち、他の模範となる児童生徒に対して、町長から表彰されるものです。表彰される児童生徒には、表彰状と金メダルが贈られます。今年度は下記の児童生徒が選ばれ表彰されました。

また、その他教育、芸術文化などに貢献した生徒へは教育委員会表彰がおくられました。これらの賞にもれた児童生徒も今年度1年間、みんな一生懸命頑張りました。美郷町の子供たちはすばらしい子供たちばかりです。

■子誉め表彰

学校名	学年	氏名	賞
美郷南学園	6年	田中 蘭 さん	努力賞
田代小学校	6年	川口 奏 さん	努力賞
北郷小学校	6年	日高 涼菜 さん	学芸賞
黒木小学校		黒木小学校児童会	奉仕賞
美郷南学園	9年	岩田 広之進 さん	努力賞
西郷中学校	3年	森川 晴 さん	奉仕賞
北郷中学校	3年	梅田 真一 さん	努力賞

■教育委員会表彰

学校名	学年	氏名	賞
西郷中学校	2年	黒木 智瑛 さん	学芸賞
西郷中学校	3年	甲斐 千秋 さん	読書賞
西郷中学校	3年	奈須 愛莉 さん	学芸賞
北郷中学校	3年	稲村 咲里奈 さん	明朗賞
北郷中学校	3年	鴨田 美萌 さん	奉仕賞
北郷中学校	3年	松本 栞奈 さん	学芸賞

美郷町生涯学習講座『生きがい教室』



西郷「水墨画教室」

教育委員会では町民の生きがいづくりの場を提供するため、生涯学習講座「生きがい教室」を実施しています。平成24年度は「水墨画教室」や「英会話教室」、「韓国文化講座」などを開講しました。受講者の皆さんは、教室内での会話も楽しみなが熱心に取り組まれている様子でした。生きがい教室がきっかけとなり、これからは自身の趣味や特技として関わり続けていただけたら嬉しく思います。平成25年度も講座を予定しています。組合回覧などで募集を行いますので、ご覧になり興味を持たれた方は、ご家族やご友人にもお声掛けいただき是非ご応募ください。



北郷「英会話教室」



南郷「韓国文化講座」

わが町の行政相談委員について

4月より西郷区担当の行政相談委員がかわります。

平成15年から行政相談委員として、長きに渡って務めていただいた黒木正樹さんが3月をもって退任されました。住民の方々の行政に関する意見や要望に親身になって耳を傾け、助言を行ったり関係機関へ通知するなどの活動をされました。長い間お疲れ様でした。

4月からは川邊信行さんが後任として委嘱され、南郷区・北郷区の担当は引き続き那須富重さん(南郷区)、河内喜美子さん(北郷区)が再委嘱されます。よろしくお願いいたします。

美郷町では、下記の日程で、行政相談所を開設します。

毎日の暮らしの中で、国などの仕事について、苦情や困っていることがある、制度や仕組みが分からない、相談してみたが説明に納得がいかない、どこに相談したらよいか分からないなどのお困りごとがありましたら、行政相談委員にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

●南郷区

相談日 毎月第1木曜日(19:00~21:00)
場所 南郷区多目的研修センター

●西郷区

相談日 毎月第3木曜日(10:00~12:00)
場所 峰集会センター

●北郷区

相談日 毎月第3水曜日(10:00~12:00)
場所 北郷総合保健センター



川邊信行委員



那須富重委員



河内喜美子委員

西郷区『高齢者学級』講座

2月13日(水)西郷ニューホープセンターにおいて「高齢者学級」が行われました。

今回は、講師として消費生活センター延岡支所の職員(消費生活啓発員)の方にお越しいただき、「くらしの中の契約」をテーマに講義を実施しました。

売買契約の基礎やクーリング・オフ制度の知識、訪問販売による詐欺の手口などが語られ、参加者の皆さんは一つひとつの話に熱心に耳を傾けていました。

受講者からは「とても良い話を聞くことができた。」との声もあり、充実した講座となりました。悪質商法にかかわるトラブルから身を守る方法について、多くのことを学ぶことができたようです。



テーマ「くらしの中の契約」



「高齢者学級」の様子

美郷町小・中学校教職員教育研究論文の表彰

2月28日(木)本年度の教職員教育研究論文表彰式を行いました。美郷町では、毎年、教職員を対象に教育研究論文を募集しており、今年も28編もの応募がありました。いずれも各学校、児童生徒が抱える課題解決のために工夫改善を重ねた素晴らしい内容ばかりでした。

そのなかでも1席に輝いた美郷南学園の小島琢哉教諭の論文『科学的な思考力を高め、考えを的確に表現できる児童の育成』～言語活動を充実させた学習指導と活用する力を育成するための取組の実践～は、子どもたちが実験や観察をとおして気づいたことや考えたことを自分の言葉でまとめ、表現したり意見を交流させたりする取組が高く評価されました。

当日は、1,2席の入賞者による発表とともに、本年度の美郷町教育研究所による算数・数学科における「活用する力」の研究発表も行われました。これらの研究成果が美郷町全体のさらなる教育力向上につながるものと思われます。

研究論文の受賞者は次のとおりです。

- 【一席】小島 琢哉(美郷南学園)
- 【二席】奥野 雄大(美郷南学園)
尾崎 智子(北郷小)
- 【三席】松浦 悟史(北郷小)
吉野 景子(西郷中)
甲斐 真由(北郷小)
- 【特別賞】時任 真志(北郷中)
- 【入選】山本 治・野中 恵子・黒木 裕次・笠 大輔
小田代康徳・有松 千明(美郷南学園)
本田 淳子・村田 拓也・川越 秀樹(田代小)
右立 晴利・前畑 光信・石塚 啓祐(北郷小)
川越 雅彦・田中 祐子(黒木小)
増田 奈穂(西郷中)
利田 康孝・池田 和代・池田 洋一・和田 康幸
金丸 宜弘・藤田 和子(北郷中)
- 【学校賞】北郷中学校



論文1, 2, 3席の入賞者



教育研究所員

北郷区文化協会おさらい会開催

2月24日(日)に北郷総合交流センターにおいて、「北郷区文化協会おさらい会」が開催されました。佐藤源三郎会長の司会進行により、居合道の演武から始まり、エレキバンド、地芝居、舞踊、カラオケ、コーラス、民謡と、14団体から34組の出演があり、北郷区文化協会会員の一年間の活動の成果を存分に披露しました。

最後は餅まきを行ない、盛会の内に閉幕しました。



エレキバンド「てやわんず」



地芝居「竹屋の人」

本格キムチはマシソンヨ!

おいしいよ

町内各所で国際交流員(金素娟さん)によるキムチ作り講習が開催されました。

美郷町の国際交流員、金素娟(キムソン)さんが講師となって、本場韓国のキムチ作り講習会が町内各所で開催されました。

これは、町内で以前から要望のあった「本場韓国のキムチ」の作り方を習いたい!との声に応えたもので、白菜のおいしいこの時期に合わせて開催されました。

南郷区の会場では、美郷町の食生活改善委員会さんや公募により参加された生涯学習講座受講生など総勢40名の方がキムチ作り挑戦しました。ソヨンさんが直接韓国から仕入れた唐辛子や塩辛などの調味料を使用してのキムチ作り、参加者からは「辛いながらもコクがあり、まさに本格的なキムチ!」ととても「マシソンヨ」韓国語で「おいしいの意」との感想が聞かれました。

また、北郷区会場では、社協主宰による「男性料理教室」老人クラブ女性部の皆さん約30名が参加。いずれの講習会も大好評で、是非次回は作ったキムチで、キムチ鍋をしてみたい!との意見やサムゲタン、スンドゥブなど他にも挑戦してみたい!との声もあがっていました。



(南郷区会場)食生活改善委員



(南郷区会場)生涯学習講座



(北郷区会場)老人クラブ女性部



(北郷区会場)男性料理教室

人権擁護委員 坂本初枝さん(北郷区)退任



美郷町には5名の人権擁護委員がおります。この度、人権擁護委員として活動いただいた坂本初枝さん(北郷区)が24年12月31日をもって退任されました。

平成22年10月1日から2年3ヶ月の間、人権擁護委員としてご尽力いただきました坂本さん(法務大臣並びに宮崎県人権擁護委員連合会会長より感謝状が贈られることになり、去る2月8日町長室において、伝達式が行われました。

坂本さんは、誰からも気軽に相談される委員として活動されてきましたが、「人権擁護委員」として活動したことは自分にとって本当に勉強になりました。これからの生活に活かしていきたい。とあいさつされました。本当にありがとうございました。

災害ボランティアセンターの 実地訓練が開催されました

平成25年2月17日(日)に社会福祉協議会主催で「災害ボランティアセンター実地訓練」が西郷いきいきトレーニングセンターにおいて開催されました。

災害ボランティアセンターとは、災害が発生した際に、被災地(者)の要望を把握し、ボランティアに来られた方々を調整し、スムーズに派遣する為に設置されるものです。

今回は、西郷区において台風による災害が発生したという設定で訓練を行いました。当日は、社協の理事評議員、民生委員児童委員、日赤奉仕団、行政職員、社協職員等の協力により総勢約60名の訓練となりました。

みなさん真剣に訓練に取り組まれる姿が見られ、慣れない作業に四苦八苦しながらも仮想の被災地にボランティアを派遣していました。

実際に大規模な災害が起きた場合には、長期間にわたってのセンターの設置が必要となるため、地域住民の方々の協力なしには運営ができません。社会福祉協議会では、防災意識の高揚と万一の事態に備えるために、年に一回は同様の訓練を継続することとしました。

今後の予定としては、平成25年度は北郷区、平成26年度は南郷区にて訓練を行う予定となっておりますので、地域住民の方々のご協力をよろしくお願いいたします。



広域情報

2013 「扇山」山開き



九州中央山地国定公園内の中心部にある扇山(1661m)はシャクナゲ群生地として知られ、白岩山(1647m)を結ぶ縦断コースとして県内外の登山愛好者に親しまれています。頂上付近で見頃を迎えたシャクナゲが登山者を迎え、久住山、由布岳、祖母、傾連山、大崩山、阿蘇山など九州の高山をほとんど眺望することができます。

暖かい日差しの中、新緑とシャクナゲの花が織りなす癒しの風景と大自然の雄大な景観を眺め、爽快感を味わってみませんか。

参加者の方には当日受付にてオリジナルワッペンと飲み物をプレゼントいたします。

■期日 平成25年5月12日(日)9時30分

■場所 椎葉村扇山松木側登山道入口

■問い合わせ先

椎葉村役場 地域振興課

商工観光グループ

椎葉村観光協会

☎0982-3203
☎0982-6767
☎0982-3139

新刊図書のご紹介

今月は南郷図書館からオススメの2冊をご紹介します。

どこいったん

ジョン・クラッセン 著

くまが帽子をかぶっている。「ぼくのぼうし、どこいったん?」長谷川義史氏が翻訳に挑戦した大阪弁の絵本。

いのちへ ちいさなちいさないのりのことば にしだ ひろみ 著

いのちの神秘。母であることの喜びと痛み。全ての人の心をジンワリとあたためる、陽だまりのような詩集です。

電話	休館日	開館時間	種類	書名	著者名等
南郷図書館 59-1605	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	一般	ガソリン生活	伊坂 幸太郎
			一般	ガッツン	伊集院 静
			一般	パン屋を襲う	村上 春樹
			YA	ペーパータウン	ジョン・グリーン
			児童	金色のライオン	香山 彬子
			絵本	おしりをしりたい	鈴木 のりたけ
西郷図書館 66-2636	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	一般	世界から猫が消えたなら	川村 元気
			一般	ハピネス	桐野 夏生
			一般	自分超え	松田丈志・久世由美子
			YA	不思議の扉	大森望 編
			児童	いのちつぐ「みとりびと」	國森 康弘
			絵本	へびのみこんだ なにのみこんだ?	tupera tupera
北郷図書館 62-6205	月 祝日	9:30 ~ 18:00 ※土・日 17:00	一般	光る牙	吉村 龍一
			一般	これが正しい!昔ながらのおかず100	重信 初江
			一般	ペコロスの母に会いに行く	岡野 雄一
			YA	春へつづく	加藤 千恵
			児童	ロボット世界のサバイバル 3巻	金 政郁
			絵本	こぶたのかばん	佐々木 マキ

※利用したい図書等のご要望がございましたら、お近くの図書館にお気軽にご連絡下さい。参考にさせていただきます。

北郷図書館の開館時間が変わります

平成25年4月から、北郷図書館の開館時間が次のように変わります。お勤め帰りの方も、お気軽にお立ち寄りください。

北郷図書館 ☎62-6205

火~金曜日	9時30分~18時
土・日曜日	9時30分~17時

休館日は、今までどおり「月曜日」「祝日」「年末年始」です。

平成24年度コミュニティ助成事業 コミュニティ助成事業で音響設備・机・イスを整備

財団法人自治総合センターが、宝くじの益金を財源として行なっているコミュニティ助成事業により、鬼神野自治公民館(高見豊館長)に音響設備・机・イスが整備されました。

今後、これらの備品は自治公民館活動の各種行事等に活用され、地域コミュニティの輪が広がっていくこととなります。

【整備された備品】

- ・音響設備(アンプ・マイク等) 1式
- ・会議用高机 10台
- ・イス 30脚



地域の安全は地域で守ろう

春の行楽シーズンを迎え、空き巣、バイク・自転車等の乗物盗、新入学児童をはじめ児童生徒を対象とした声かけ事案等の事件・事故等が増加することが予想されます。

これらの犯罪を未然に防止するため、関係機関が一体となり、積極的な見守り活動、パトロール、広報等の諸活動を推進し、地域の日常生活の安全安心を確保することを目的に、4月1日(月)から10日(水)までの10日間「春の地域安全運動」を実施します。

地域の安全を守るため、「地域の安全は地域で守る」という強い意識を持って、積極的に地域安全活動に参加しましょう。

☆春の地域安全運動の重点

1. 子どもや女性、高齢者の犯罪被害防止
2. 住宅や車、自転車の「鍵かけ」運動の推進
3. 地域の目による万引きの防止
4. 地域を見守る自主防犯活動の推進



春の全国交通安全運動実施

「ストップ!脇見 ぼんやり運転」をスローガンに、4月6日(土)から15日(月)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。

春の全国交通安全運動では、新入学児童等に対する交通ルール理解と交通マナーの習慣付けが重要課題となるとともに、高齢者の交通事故等に的確に対処するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本としています。

また、運動期間中は、交通安全に対する意識の向上を図るため、通学時の街頭指導や、国道沿いで交通指導所を設置いたしますので、町民のみなさんのご協力をお願いします。

平成24年全国交通安全年間スローガン

- 【運転者(同乗者を含む)に対するもの】○ スマホ手に 車や自転車 事故のもと
 【歩行者・自転車利用者に対するもの】○ お年寄り 孫のお手本 いい横断
 【こども部門】○ ヘルメット ぼくのだいじな おともだち

美郷町高校生就学支援補助金について

高校生を持つ保護者に対して、高校生就学支援補助金が交付されます。補助金額は、生徒ひとりにつき月額10,000円です(4月と8月を除く年間10カ月の交付)。

下記の要領で申請書類の配布及び受付を行いますので、忘れずに申請をしてください。

- 書類配布及び申請期間 平成25年4月1日(月)～4月19日(金)・本所 ☎66-3608
- 詳しい内容のお問い合わせ先 美郷町教育委員会
- 書類配布場所及び申請場所 美郷町教育委員会本所及び各支所
- ・南郷事務所 ☎59-1605
- ・北郷事務所 ☎62-6205

税務だより

○軽自動車税の減免について

障がい者が所有し自ら運転する車両や、障がい者を常時介護する者が運転する車両、又は障がい者と生計を一にする者が専らその障がい者のために運転する車両については、軽自動車税が減免される規定があります。

減免には、本人又は家族の申請が必要となります。

【申請期限】

納税通知書発行後から4月23日まで(納期限の7日前まで)

申請期限を過ぎた場合は、減免が受けられませんので、ご注意ください。

【申請に必要なもの】

- 身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病手帳のいずれか
- 運転免許証
- 印鑑

【注意点】この制度は毎年申請が必要となります。

忘れていませんか？ 軽自動車の廃車手続!!

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。

※廃車(廃棄・譲渡・盗難・紛失・その他)した場合は、役場財務課で、手続きをしてください。

減免には適用範囲がありませんので、詳しくは美郷町役場、財務課までお問い合わせください。
減免は、普通自動車を含め一人一台に限ります。

本所 財務課	☎ 66
各支所 財務課	
南郷支所	☎ 6259
北郷支所	☎ 6201
	1606
	3602

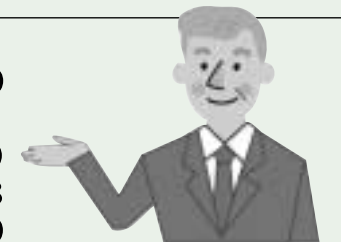
減免は、普通自動車を含め一人一台に限ります。
申請は、本所及び各支所財務課で受付します。

外国人の方へ 福岡入国管理局からのお知らせ

いままでも福岡入国管理局宮崎出張所では、在留資格認定証明書交付申請の受付を行っていませんでしたが、宮崎県及び熊本県に在住の外国人の方を対象に、平成25年4月1日(月)から下記のとおり交付申請受付が始まります。

ご不明な点は下記の番号までお問い合わせください。

福岡入国管理局宮崎出張所	
所在地	〒880-0802 宮崎市別府町1-1 法務総合庁舎2階
開庁時間	午前9時から12時・午後1時から4時(平日のみ)
管轄区域	宮崎県・熊本県
申請できる在留資格	「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「人文知識・国際業務」、「教授」、「芸術」、「宗教」、「報道」、「投資・経営」、「法律・会計業務」、「医療」、「研究」、「教育」、「技術」、「企業内転勤」、「技能」、「文化活動」、「家族滞在」、「特定活動」、「定住者」
お問い合わせ先	福岡入国管理局 ・総務課 ☎092-623-2400 ・入国・在留審査部門 ☎092-626-5151 ☎092-626-5200 ・鹿児島出張所 ☎099-222-5658 ★宮崎出張所 ☎0985-31-3580



マダニにご注意ください！！

最近になってその存在が知られるようになった、ダニ媒介性の感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」。

この病気は多くの場合、ウイルスを保有しているマダニに咬まれ、感染することによって引き起こされます。主な症状は発熱と消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。現在のところSFTSウイルスに対して有効なワクチンはありません。



マダニは・・・

家庭内に生息するダニとでは種類が異なります。マダニ類は、比較的大型(吸血前で3～4mm)で、主に森林や草地等の屋外に生息しています。県南部で発症例のある「日本紅斑熱」を媒介します。

この病気にかからないために・・・

マダニに咬まれないようにすることが重要です。草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくすることが大事です。

県央、県南で発症例のある「つつが虫病」の予防にもなります。

マダニに咬まれたら・・・

無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、できるだけ病院で処置してもらってください。また、マダニに咬まれた後に、発熱等の症状が認められた場合は、病院を受診してください。

平成25年4月から 難病等の方々 が障害福祉サービス等の 対象となります

平成25年4月に施行される障害者総合支援法では、障がい者の範囲に難病等の方々がかかります。対象となる方は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能になります。

障がい児・者については、障害福祉サービス、相談支援、補装具及び地域生活支援事業。
障がい児については、障害児通所支援及び障害児入所支援

対象者	対象疾患(別途お問い合わせください)による障がいがある方
手続き	対象疾患であることがわかる証明書(診断書又は特定疾患医療受給者証等)を持参の上、美郷町役場健康福祉課に支給申請してください。その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できることになります。
問い合わせ	美郷町役場 健康福祉課 ☎66-3610 南郷担当 ☎68-4070 北郷担当 ☎62-6202

届出を忘れずに！国民健康保険 春は健康保険の異動が多い季節です！

3月から4月にかけては、学校の卒業、会社への就職など、異動の多い季節です。異動に伴い、加入している健康保険が変わる場合があります。学生が就職し社会人になるときは、親(扶養者)から独立して職場の健康保険に加入することになります。また、反対に定年退職や失業などでサラリーマン生活をやめるときには、職場の健康保険から市町村の国民健康保険に加入しなければなりませんので、脱退・加入の届出を忘れずにしましょう。

●美郷町国民健康保険に加入するとき

- ①他の市町村から転入したとき(職場の健康保険などに加入していないとき)
- ②職場の健康保険などをやめたとき
- ③子どもが生まれたとき
- ④生活保護を受けなくなったとき

●美郷町国民健康保険の資格を喪失するとき

- ①他の市町村へ転出したとき(職場の健康保険などに加入していないとき)
- ②職場の健康保険などへ加入したとき
- ③死亡したとき
- ④生活保護を受け始めたとき

●修学のために転出する場合

大学進学など、修学のために転出する場合は、国保へ届け出ないと、国保の資格を喪失し、保険証が使えなくなります。また、修学を終えたら、その旨の届出も忘れずにしてください。

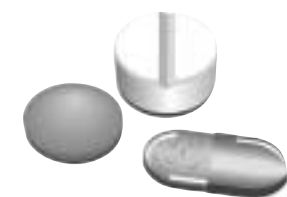


ジェネリック医薬品で 医療費節約

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬と同等の効能・効果を持ち、新薬より安価な医薬品です。利用について、お医者さんや薬剤師さんに相談してみましょう。

ジェネリック医薬品のポイント

- 新薬と有効成分が同じなので、同等の効果が得られます。
- 開発コストが少ないので、新薬よりも安価です。
- これまでに使われたことのあるお薬なので、安心して利用できます。



ジェネリック医薬品を利用するときは

- お医者さんや薬剤師さんに相談し、十分な説明を受けてから利用してください。

- 注** ◆すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。
◆薬代が下がっても、自己負担額が新薬使用時と変わらない場合もあります。
意 ◆お医者さんが使用を認めない場合は、切り替えることができません。

平成25年度より、新たな通院費助成制度をはじめます。
**美郷町内の病院または診療所に通院するための、
 タクシー料金について助成金を支給します。**

1、対象者
 70歳以上の者、もしくは障がいがあり自動車での通院が困難な方

2、助成額
 タクシー代で片道800円を超えた額の8割
 (町内病院への通院以外の目的、片道800円以下の場合は対象外です。)



例)自宅からタクシーで病院まで行き、片道2,000円かかった場合。
 (2,000円 - 800円) × 80% = 960円(助成額)
 往復の場合はこの倍になります。

800円を超えた額からが助成対象なので、2,000円から800円を引きます。残った金額1,200円の80%にあたる960円が助成額になります。

3、手続き
 役場健康福祉課にお越しください、受給者証の交付を受けてください。
 『美郷町高齢者乗合バス及びタクシー利用券』は従来どおり交付します。平成25年度分の申請は4月1日から受け付けます。お間違えのないようご注意ください。

<お尋ね先>
 健康福祉課・南郷 ☎0982-68-4070 ・西郷 ☎0982-66-3610 ・北郷 ☎0982-62-6202

平成25年4月から未熟児養育医療等の
 申請・届出窓口が宮崎県から美郷町へ
 変わります！

平成25年4月1日から、下記の事務権限が宮崎県から美郷町に移譲されます。
 (1)県から美郷町に移譲される事務

- 母子保健法関係
 ・未熟児の訪問指導 ・未熟児養育医療の給付
- 障害者自立支援法関係
 ・育成医療の給付



(2)保護者からの申請・届出先が変更となる手続き(美郷町役場での手続きとなります。)

未熟児養育医療の給付申請

- ・未熟児養育医療は、出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した子どもで、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある子どもに対して、保護者の申請により、医療の給付を行う制度です。
- ・所得に応じて費用の一部負担があります。

<問合わせ先>
 ・申請・届出 健康福祉課 ☎66-3610
 ・給付・支払い 町民生活課 ☎66-3604

育成医療の給付申請

- ・育成医療は、身体上の障がいを持つ児童や現在の病気を放置すると将来障がいを残すと認められる児童(18歳未満)で、治療によって確実な効果が期待される場合に、保護者からの申請により、その医療費の自己負担を軽減する制度です。
- ・自己負担額は原則1割で、世帯の所得水準に応じて毎月の負担上限額が設けられます。

<問合わせ先>健康福祉課 ☎66-3610

妊娠したら、妊娠の届け出が必要です。

美郷町に住民票を有する方で、医療機関で妊娠の診断を受けたら下記窓口にて、妊娠届の手続きを行ってください。妊娠届をされた方に対して「母子健康手帳」を交付します。

母子健康手帳を交付する際には、手帳の活用方法や町で実施している母子保健サービスについて保健師が説明の上お渡しします。

特に必要なものはありませんが、保健師が不在のときもありますので、一度、各支所健康福祉課にお電話をされてからお越しください。

窓 口	・美郷町西郷健康管理センター ☎66-3610 ・美郷町南郷総合保健センター ☎68-4070 ・北郷支所健康福祉課 ☎62-6202
受付時間	月～金の8:30～17:15
届 出 人	本人、またはその家族
交付に必要なもの	特にありません。
気をつけていただきたいこと	・医師から母子健康手帳をもらって来て下さいと言われてから、お越しください。 ・来られる前に、連絡をしていただくと助かります。

美郷町では、母子健康手帳と一緒に妊婦健診の助成券を14回分交付しています。妊娠中は普段より一層健康に気をつけなければなりません。妊婦健診をきちんと受けていきましょう。

旬の味 **ぴり辛なめ茸**
 簡単にできるきのこ料理です。



材 料 (2人分)

えのき茸……………60g みりん……………小さじ1
 生椎茸……………20g 濃口醤油……………小さじ1
 料理酒……………小さじ1 豆板醤……………少々

エネルギー	蛋白質	脂質
21kcal	1.3g	0.1g
食物繊維	塩分	
1.6g	0.4g	

- ①えのき茸は石づきを切り、3等分します。 ③鍋に調味料を入れ、えのき茸・生椎茸を加え煮つめます。
- ②生椎茸は石づきを切り、千切りします。 ④豆板醤を好みで加えます。

★豆板醤のかわりに、一味唐辛子などでもよいです。

※先月号レシピ紹介で、「昆布ときのこのさつと煮」の料理名と材料が違っていました。料理名は「かぶのナムル」でした。お詫びと訂正を致します。

「みさと認知症予防プログラム」交流会でのグループ紹介より

脳トレ・パソコングループ 「我・楽多」

我々は北郷区 脳トレサークル「我・楽多」のメンバー8名(現在は9名)の活動を紹介します。一昨年認知症予防の講習会を受講して、昨年1月から「我・楽多」脳トレグループとして、活動を始めてから1年が経過しました。現在3名が、いろいろな都合で休んでいます。6名で毎週楽しく学んでいます。その内容は、年間計画を立案し、また、3ヶ月毎の計画に、詳細を組み計画に基づいた予定で実行しています。メンバーの感想を、ご紹介しますと ……………

「私は一番 最高齢で、全て白紙の状態を始めました。もっと若いうちに始めればよかったと何度も挫折しながらも、皆さんに教えてもらいつつ、水曜日に出席するのが楽しくなっています。」

「認知症の予防になるならと思いつき参加したパソコン教室が、病み付きになり今も続いています。楽しくてパソコン教室の日が待ち切れません。」

「認知症予防に参加して、まずパソコンが使えるようになりました。文章を考えるのに頭を使う。脳の活性化!写真を写す。自然と美への興味、知人が増え会話や笑いが多くなった。」

以上のように、全員が、毎週水曜日が待ちどろしく、楽しみにしていることが、お解り頂けると思います。この一年間、いろいろなことを学び、出来るようになりました。

「名簿の作成」「家計簿」「表計算」「写真の取り込み」「ワードアート」「図に写真を取り込む」「イラスト集」「取り込み写真の整理」「CD-Rの作成」

「スキャンの活用」等々お互いが教え合っています。これが脳の活性化に良いのです!基本ですよ!

みんなが先生であり、みんなが生徒です。理解ができた時の喜びは大きいです。

一人では何も出来ないけれど、仲間がいるから出来る!とても素敵な仲間です。

もちろん、認知症予防も出来ていると自負しています。(次々と忘れていくけど……?)

何故なら毎週の集まり、会として一度も休んでいません。楽しみながら続けることが、一番大切だと思うからです。

皆さんも一緒に頑張ってみませんか?



never too late(初 - ツウ - レト)遅すぎることはない

4月 保健事業予定表

	日	曜日	内 容
南郷区	12	金	母子相談(10:00~南郷保健センター)
西郷区	5	金	乳児健診(13:30~西郷生きいきトレーニングセンター)
北郷区	4	木	うりぼうの広場(10:00~北郷保健センター)

高齢者のサークル活動を支援! 平成25年4月~

~美郷町いきいき高齢者サークル活動支援事業~

1.目的

介護予防の意識啓発と高齢者を地域で支えられる地域ケア体制の整備を進める。

2.対象となるサークル

次の各号のいずれにも該当し、かつ、介護予防活動を適切に運営することができ、概ね月1回以上の活動ができると認められる団体となります。

(1) ボランティア活動や福祉活動等を行う目的で設立された団体で、主に介護予防事業に資する活動を行っており、他機関等から補助金や助成金などの収入を得ていない団体やサークルであること。

(2) 町内に居住するものが中心となって構成されている5名以上の団体であること。

(3) 主に、概ね65歳以上の高齢者で組織された団体であること。

(4) 団体主催で介護予防事業に関する教室や勉強会を年1回以上開催するか、又は他の団体等の開催する介護予防教室等を年1回以上受講することができること。

(5) 営利を目的としない団体であること。

(6) 特定の政党、宗教団体に属していないこと。

3.支援金(委託料) 年間1サークルあたり10,000円~(20,000円を上限)

4.申込み方法

申請書を町(健康福祉課)へ提出

申請期間 平成25年4月1日(月)~平成25年4月30日(火)

申請書類を町が審査し決定された団体にのみ支援金(委託料)が支払われます。
平成25年度は30団体を支援予定

問い合わせ先 美郷町役場 健康福祉課 福祉担当

・西郷健康管理センター ☎66-3610

・南郷保健センター ☎68-4070

・北郷支所 健康福祉課 ☎62-6202



住民の声 あの時精密検査を受けていれば……

美郷町 南郷区 70代・女性

主人は65歳の時に胃がんで亡くなりました。病院嫌いで、仕事が忙しいとか待つのがイヤだと言ってほとんど受診することはありませんでした。

胃の痛みがあつて病院を受診した時には、すでに肝臓や脾臓にがんが転移しており、手術もできなく余命3か月と言われ亡くなりました。

夫の死後、引出の奥から夫の胃がん検診結果の通知が出てきました。結果は精密検査が必要というものでした。胃がん検診を受診したのは亡くなる3年前でした。

通知には、気になるところが1か所マークされており、もし、その時に精密検査を受けていたら手術もできたのかも…と思うと、とても悲しくて残念です。

がん検診で精密といわれても受診されていない方がいると聞きます。是非、精密検査までしっかり受診して主人のように家族を悲しませないで下さい。

美郷町金婚祝賀会が開催されました

平成25年2月19日(火)に「美郷町金婚祝賀会」が西郷ニューホープセンターにて開催されました。

本年度は、南郷区7組、西郷区7組、北郷区が10組と計24組の金婚者がおられました。

「50年共に歩んだ夫婦」と一言でいいますが、振り返ると山あり谷ありの人生であったと笑いながら話される参加者もおられました。

祝賀会では、食事をとりながら、お酒にてほんのり顔を赤らめ、各アトラクションを目を細めて楽しまれていた様です。

金婚者のみなさんにおかれましては、これからも夫婦仲良く「ダイヤモンド婚式(60周年)」を目指してください。

おめでとうございます。



西郷区



南郷区



北郷区



ヤマメ釣り大会のお知らせ



美郷町と門川町を流れ日向灘に流れ込む清流「五十鈴川」。この川の素晴らしさを多くの方に知っていただくため、北郷商工会青年部が主催しているこの催し。美郷町のレジャーシーズンの訪れをつける、春の人気イベントです。

会場内のプールでは、ヤマメのつかみ取り大会も行われ、子供達の歓声で賑わいます。ご家族お揃いでぜひご参加ください。

【開催日】平成25年4月21日(日)
※ 大雨の場合は5月中旬に延期

【受付会場】美郷町北郷区宇納間小原(こぼる)地区
小原多目的集会施設

【参加料】高校生以上 1,000円 小・中学生 500円
未就学児 無料

【受付開始時間】午前6時

【釣り競技時間】受付後～11時

【つかみ取り大会】午前10時～11時

【主催】北郷商工会青年部

【協賛】北郷商工会、美郷町観光協会北郷支部

【お問合せ先】北郷商工会

☎0982-62-5895 FAX 0982-62-6104

ヤマメのつかみ取り大会



美郷町の人口

		前月	今月	増減
人口	男	2,825	2,822	△3
	女	3,094	3,086	△8
	計	5,919	5,908	△11
世帯数		2,482	2,478	△4

平成25年3月1日現在 (現住人口による)

